

漢籍（中国古典籍）の 探し方

- 1 漢籍とは何か
- 2 解題・工具書（参考図書）
 - 2-1 解題
 - 2-2 工具書（参考図書）
- 3 全文検索
- 4 叢書
 - 4-1 代表的な叢書
 - 4-2 叢書の収録書目を検索する
 - 4-3 目録
- 5 大阪大学所蔵の漢籍
 - 5-1 文庫
 - 5-2 漢籍コーナー



1 漢籍とは何か

漢籍とは、広義には中国語（漢文）で書かれ、中国で出版された書物を、狭義には、そのうち清代まで（1911年の辛亥革命まで）に出版されたものを指します。日本、朝鮮半島、ベトナムなどの漢字文化圏に輸入され、新たに注釈を付したり、国内向けに編集したりしたものは、準漢籍と呼ばれています。漢籍は、漢字文化圏に属する日本において主要な文化的源泉の一つであり、さかんに研究が行われてきました。このガイドでは、とくに狭義の漢籍に焦点を当てて、探し方を概説します。

〈漢籍について知るための入門書〉

■坂出祥伸『初学者のための中国古典文献入門』（筑摩書房、2018）【[阪大所蔵あり](#)】

■東京大学東洋文化研究所編『はじめての漢籍』（汲古書院、2011）【[阪大所蔵あり](#)】

■魏隠儒、王金雨『漢籍版本のてびき』（東方書店、1987）【[阪大所蔵あり](#)】

■陳国慶『漢籍版本入門』（研文出版、1984）【[阪大所蔵あり](#)】

■吉川幸次郎『中国文学入門』（講談社、1976）【[阪大所蔵あり](#)】

*漢籍の調べ方については、以下の情報源も参考になりますのでご参照ください。

■漢籍の探し方（京都大学図書館機構、<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/refguide/13216>）

2 解題・工具書(参考図書)

2-1 解題

解題は、書籍や論文の内容や成立事情について解説したものです。漢籍にも多くの解題が作成されており、作品や書物が成立した背景事情、刊本に関する情報、先行研究などを知ることができます。

■内山知也『漢籍解題事典』（明治書院、2013）【[阪大所蔵あり](#)】

■『中国史籍解題辞典』（燎原書店、1989）【[阪大所蔵あり](#)】

■長澤規矩也『漢籍解題』（汲古書院、1985-1987）【[阪大所蔵あり](#)】

■『東洋史料集成』（平凡社、1984）【[阪大所蔵あり](#)】

■桂五十郎編『漢籍解題』（日本図書センター、1979）【[阪大所蔵あり](#)】

■長澤規矩也編『神宮文庫漢籍善本解題』（神宮司庁、1973）【[阪大所蔵あり](#)】

〈四庫提要〉

さまざまある漢籍解題の源流として位置付けられるのが、清代に編纂された叢書『四庫全書』の解題である『四庫全書総目提要』（四庫提要）です。

*以下のデータベースで、全文が公開されています。

■[全国漢籍データベース](#) 四庫提要

（全国漢籍データベース協議会、<http://kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/db-machine/ShikoTeiyo/>）

■[四庫全書総目提要](#)（中国哲学電子化計画、<https://ctext.org/wiki.pl?if=gb&res=569524&remap=gb>）

＊関連資料

■余嘉錫『四庫提要弁証』（中華書局、2007）【[阪大所蔵あり](#)】

■崔富章『四庫提要補正』（杭州大学出版社、1990）【[阪大所蔵あり](#)】

・『四庫提要』の誤謬を文献学的に同定し、訂正する研究書です。

■土曜談話会編『四庫提要訳注』（土曜談話会、1966-1967）【[阪大所蔵あり](#)】

・各部各類の序文に訳注を付したものです。大阪大学では経部一のみ所蔵しています。

2-2 工具書(参考図書)

辞書・事典・索引・書誌・目録など、一次的な情報源にたどり着くための情報をまとめたものを一般に参考図書と呼びますが、中国学ではこれを「工具書」と呼びます。参考図書・工具書はあくまでも二次的な情報源ではありますが、これを使いこなすことによって、求める情報を効果的に入手することができます。

■中国工具書（CRWO）【[阪大契約あり](#)】

・中国の学術情報データベース「CNKI 中国知网」（China National Knowledge Infrastructure）に収録されているサブデータベースの一つです。中国古代文学、中国語文学、人文社会科学分野の辞書類を利用することができます。

■近藤春雄『中国学芸大事典』（大修館書店、1978）【[阪大所蔵あり](#)】

・中国文学・思想をはじめとする中国の諸学問に関する人名・書名・事項名に解説を加えたものです。
・巻末に「中国学芸年表」、「中国主要叢書内容一覧」、「中国・日本年号索引」、「総画索引」が付いています。

■漢字文献情報処理研究会編『デジタル時代の中国学リファレンスマニュアル』（好文出版、2021）【[阪大所蔵あり](#)】

・中国学を研究する上で前提となる知識や、有用なデータベース・参考図書を分かりやすく解説しています。

〈字書〉

■『大漢和辞典』（大修館書店、1989-1990）【[阪大所蔵あり](#)】【[阪大契約あり](#)】

・全12巻＋索引の大部な字書です。『中国学芸事典』とともに、中国学の代表的な参考図書です。
・大阪大学で契約している辞書データベース「JapanKnowledge Lib」にも収録されています。

■『全訳漢辞海』（三省堂、2017）【[阪大所蔵あり](#)】

■『角川新字源』（KADOKAWA、2017）【[阪大所蔵あり](#)】

■『学研新漢和大字典』（学習研究社、2005）【[阪大所蔵あり](#)】

〈訓読〉

■『新釈漢文大系』（明治書院）【[阪大所蔵あり](#)】

■『全釈漢文大系』（集英社）【[阪大所蔵あり](#)】

■『漢文大系』（富山房）【[阪大所蔵あり](#)】

〈書名の異同〉

- 杜信孚『同書異名彙録』（江蘇古籍出版社、2000）【[阪大所蔵あり](#)】
- 杜信孚ほか『同名異書通検』（江蘇人民出版社、1982）【[阪大所蔵あり](#)】
- 張雪庵『古書同名異称挙要』（山東人民出版社、1980）【[阪大所蔵あり](#)】
- 杜信孚『同書異名通検』（太平書局、1963）【[阪大所蔵あり](#)】

3 全文検索

漢籍を対象とするデータベースの中には、全文検索が可能なものがあります。ここでは、そうしたデータベースのうち、無料で使用できるものを紹介します。

※このセクションの記述は、次の情報源に主に依拠しています。これらの情報源も併せてご参照ください。

- レファレンス協同データベース「漢籍（中国の古典）が全文検索できるデータベースはないか。」（登録番号 1000239816）（https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000239816）
- 国立国会図書館リサーチ・ナビ「芸術・文学：中国・香港・台湾」（[アジア関係リンク集](#)）

〈全文テキスト〉

- 漢籍全文資料庫（台湾・中央研究院歴史言語研究所、<https://hanchi.ihp.sinica.edu.tw/ihp/hanji.htm>）
 - ・1500以上のタイトルが収録されています。「[免費使用](#)」から、二十五史などの古典文献や地方誌文献の全文検索を行うことができます。
- Project Gutenberg（<https://www.gutenberg.org/>）
 - ・「Search Options」で詳細検索画面を開き、「Language」欄で「Chinese」を選択して検索すると、古典を含む中国語文献が表示されます。読みたい作品を選択すると、その作品のページに遷移します。「Other formats & older devices」で「Plain Text」を選択すると、その作品の全文検索を行うことができます。
- 漢籍リポジトリ（京都大学人文科学研究所、<https://www.kanripo.org/>）
 - ・タイトルによる検索と、全文検索を行うことができます。
- 維基文庫（Wikisource）（<https://zh.wikisource.org/wiki/Wikisource:%E9%A6%96%E9%A1%B5>）
 - ・インターネット上の共同編集によって作成された中国語文献のデータベースです。
- 台湾文献全文資料庫（台湾・中央研究院台湾史研究所、<https://taicool.ith.sinica.edu.tw/>）
 - ・『台湾文献叢刊』全309件などを全文検索することができるデジタルアーカイブです。
- CCL 語料庫検索系統（北京大学中国語言学研究中心、http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/）
 - ・古代中国語および現代中国語の用例を検索することができるコーパス（用例集）です。

（参考） 漢籍の全文検索が可能な有料のデータベースとして代表的なものに、「[中国基本古籍庫](#)」があります。大阪大学では契約していませんが、他大学で契約がある場合があります。ご利用を希望される際は、附属図書館各館の[レファレンス・デスク](#)にご相談ください。

〈全文画像〉

■ 東方学デジタル図書館

(京都大学人文科学研究所、<http://kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/db-machine/toho/html/top.html>)

- ・ 京都大学人文科学研究所が所蔵する漢籍の全文画像データベースです。

■ 東洋文化研究所所蔵漢籍善本全文映像資料庫(東京大学東洋文化研究所、<https://shanben.ioc.u-tokyo.ac.jp/>)

- ・ 東京大学東洋文化研究所が所蔵する漢籍の全文画像データベースです。

■ 貴重図書全文画像データ (漢籍)

(小樽商科大学附属図書館、<https://www.otaru-uc.ac.jp/htosyo1/siryo/kanseki/>)

- ・ 『論語古注集箋』、『日本国志』、『荀子集解』、『楚辞集注』などの全文画像を閲覧することができます。

〈漢詩〉

■ 漢詩文献系統 (国立台湾大学、<https://hanshi.cl.ntu.edu.tw/archive>)

- ・ 『全唐詩』など 12 種類の詩歌集を収録しています。タイトル、作者、語句などから本文検索が可能です。

■ 漢典詩詞 (漢典、<https://sc.zdic.net/>)

- ・ オンライン中国語辞典「漢典」のサブデータベースで、中国詩詞 26 万首余りを収録しています。

■ 搜韻 (広州搜韻文化発展有限公司、<https://sou-yun.cn/>)

- ・ 古代から現代までの中国詩を全文検索することができます。

■ 全唐詩庫 (中国哲学電子化計画、<https://ctext.org/quantangshi/zh>)

- ・ 『全唐詩』(中華書局、1960)【[阪大所蔵あり](#)】所収の唐詩を検索することができます。

■ 智慧型全台詩知識庫 (国立台湾文学館、<https://db.nmtl.gov.tw/site5/index>)

- ・ 国立台湾文学館が作成したデータベースのうち、古典文学に関するデータベースを集めたものです。

■ 蘇洵蘇軾詩検索 (広島大学文学部中国語学中国文学研究室、<https://cbn.hiroshima-u.ac.jp/sushi.htm>)

- ・ 『全宋詩』(北京大学出版社、1991)【[阪大所蔵あり](#)】と『蘇軾詩集』(中華書局、1982)【[阪大所蔵あり](#)】を底本として、蘇洵および蘇軾の詩を詩句と詩題で検索することができるデータベースです。

■ 全梁詩検索 (広島大学文学部中国語学中国文学研究室、<https://cbn.hiroshima-u.ac.jp/rikucho/ryo/ryo.htm>)

- ・ 『先秦漢魏晉南北朝詩』(中華書局、1983)【[阪大所蔵あり](#)】を底本として、語句検索と詩題検索を行うことができるデータベースです。

* 漢詩の調べ方については、以下の情報源でより詳しく概説されています。

■ レファレンス協同データベース「漢文・漢籍資料」の調べ方 (韻文編) (登録番号 2000002499)

(https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=man_view&id=2000002499)

4 叢書

叢書は、多数の作品を一つのシリーズとしてまとめたものです。中国では、宋代から叢書の刊行が始まり、明代から清代にかけて大規模な叢書が編纂されました。漢籍の多くは叢書に収録されているため、漢籍を探す際の一般的な順序は、①その漢籍が収録されている叢書を特定する、②その叢書の中でその漢籍が収録されている巻を特定する、③その巻を図書館等を通じて入手する——となります。

4-1 代表的な叢書

■『説郛』[明]

- ・元代までの経書、史書、小説をまとめた叢書です。
- ・[内閣文庫旧蔵資料](#)が国立公文書館デジタルアーカイブで公開されています。
- ・大阪大学では、[商務印書館版](#)（1927年刊）を所蔵しています。

■『漢魏叢書』[明]

- ・漢代から魏晉南北朝時代までの著作を収録した叢書です。
- ・[内閣文庫旧蔵資料](#)が国立公文書館デジタルアーカイブで公開されています。
- ・大阪大学では、[盧樹枏版](#)（1915年刊）や『[新編漢魏叢書](#)』（2013年刊）を所蔵しています。

■『四庫全書』[清]

- ・乾隆帝時代に編纂された大規模な叢書です。浙江大学図書館によって作成された[デジタル化画像](#)が、Internet Archive で公開されています。
- ・本によってテキストの異同があるとされ、冊子版やデジタル版の底本には文淵閣本が用いられます。大阪大学では、『[景印文淵閣四庫全書](#)』とCD-ROM版の『[文淵閣四庫全書](#)』をいずれも所蔵しています。
- ・『四庫全書』の解題である『四庫提要』については、このガイドの「2-1」を参照してください。
- ・『四庫全書』に再録されなかったが、『四庫提要』に書目が挙げられているものは「存目」と呼ばれます。大阪大学では1990年代に編纂された『[四庫全書存目叢書](#)』も所蔵しています。
- ・1995年に刊行された『[続修四庫全書](#)』は、『四庫全書』編纂以後の書物を収録した叢書です。[続修四庫全書データベース](#)（東洋文庫）で収録書目を検索することができます。

＊『四庫全書』とその関連叢書・解題等の調べ方については、国立国会図書館リサーチ・ナビの「『[四庫全書](#)』と関連叢書の調べ方」も参照してください。

■『四部叢刊』[民国]

- ・中華民国商務印書館が当時の最良の版本をもとに編纂した叢書です。初編、続編、三編が刊行されました。
- ・初編は、[内閣文庫旧蔵資料](#)が国立公文書館デジタルアーカイブに収録されています。
- ・大阪大学では、[初編](#)、[続編](#)、[三編](#)の一部と、[CD-ROM版](#)を所蔵しています。

4-2 叢書の収録書目を検索する

■影印資料庫（学衡数据、<http://www.xueheng.net/yingyin.html>）

- ・古典籍を影印（複製）した叢書の収録書目を検索することができます。

■『中國叢書綜録』(上海古籍出版社、2007)【[阪大所蔵あり](#)】

・叢書 2797 種を対象とした叢書の総目録です。叢書名や収録書目名を検索することができます。『四庫全書』、『四部叢刊』などの大規模な叢書も収録されています。

・初版(1982 年刊)の補遺として刊行された『[中國叢書綜録補正](#)』、『[中國叢書綜録未收日藏書目稿](#)』、『[中國叢書綜録續編](#)』も大阪大学で所蔵しています。

■『中國叢書廣録』(湖北人民出版社、1999)【[阪大所蔵あり](#)】

・上下巻から成り、上巻は叢書名、編者、分類、下巻は書目名、著者名、分類で検索することができます。

4-3 目録

4-3-1 四部分類と漢籍目録・漢籍分類目録

漢籍は、四部分類と呼ばれる独自の分類法にしたがって分類されます。四部分類は、漢籍を 4 つの部(経部、史部、子部、集部)に大別し、各部を類、属、目の順に細かく分類する分類法です。また、四部とは独立して叢書部を設ける場合もあり、この場合を五部分類と呼ぶこともあります(参考:京都大学人文科学研究所人文情報学創新センター「[蔵書の概要](#)」)。

四部に叢書部を加え、各部の配架順に漢籍を記録したものを「漢籍目録」と呼びます。これとは別に、検索の便宜のために叢書部を設けず、叢書に収録されている各書籍にも四部分類を適用したものを「漢籍分類目録」と呼びます。

4-3-2 叢書の所在を検索する

〈横断的な検索が可能な目録・データベース〉

■[全国漢籍データベース](#) (全国漢籍データベース協議会、<http://kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/kanseki/>)

・国立国会図書館、大学図書館、公共図書館における漢籍の所蔵情報を検索することができます。

■[日本漢文文献目録データベース](#) (二松學舎大学、<https://www.nishogakusha-kanbun.net/database/>)

・日本漢文文献(和刻本)とその関連文献の書誌を網羅的に収録しています。

■『漢籍叢書所在目録』(東洋文庫、1966)【[阪大所蔵あり](#)】

・東洋文庫、東京大学東洋文化研究所、京都大学人文科学研究所、国立国会図書館、内閣文庫、静嘉堂文庫、天理図書館の所蔵情報をまとめたものです。

■『和刻本漢籍分類目録』(汲古書院、2006)【[阪大所蔵あり](#)】

・江戸時代に日本で出版された漢籍(和刻本)の目録です。

■『日本における漢籍の蒐集：漢籍関係目録集成 [増訂版]』(東洋学インフォメーションセンター、1982)【[阪大所蔵あり](#)】

・日本各地の図書館等が作成した漢籍目録の書誌をまとめたものです。

■[全国図書書目资讯网](#) (台湾国家図書館、https://nbinet3.ncl.edu.tw/screens/opacmenu_cht.html)

・台湾国家図書館のほか、公共図書館や大学図書館の所蔵情報も検索することができます。

〈単館の目録・データベース〉

■ 国立国会図書館サーチ（国立国会図書館、<https://ndlsearch.ndl.go.jp/>）

・国立国会図書館サーチを用いた漢籍の所蔵検索の方法については、国立国会図書館リサーチ・ナビの「[中国の叢書](#)」および「[古典籍資料検索方法](#)」を参照してください。

■ 漢籍統合データベース（東洋文庫、<http://124.33.215.236/open/KansekiAllQueryInput.html>）

■ 『東洋文庫所蔵漢籍分類目録』（東洋文庫、1978-1993）【[阪大所蔵あり](#)】

■ 内閣文庫（国立公文書館、<https://www.digital.archives.go.jp/fonds/2308962.html>）

■ 『内閣文庫漢籍分類目録』（内閣文庫、1971）【[阪大所蔵あり](#)】

■ 東京大学総合図書館漢籍目録（東京大学総合図書館、<http://hdl.handle.net/2261/0002010678>）

■ 東洋文化研究所漢籍目録（東京大学東洋文化研究所、<https://kanseki.ioc.u-tokyo.ac.jp/kandb.html>）

■ 『京都大学人文科学研究所漢籍目録』（京都大学人文科学研究所、1979-1980）【[阪大所蔵あり](#)】

■ 『京都大学人文科学研究所漢籍分類目録』（京都大学人文科学研究所、1963-1965）【[阪大所蔵あり](#)】

5 大阪大学所蔵の漢籍

5-1 文庫

5-1-1 懷徳堂文庫

1724（享保9）年に創設された学問所「懷徳堂」の関係資料約5万点を、総合図書館で保管しています。図書目録は、[懷徳堂文庫電子図書目録](#)としてWeb上に公開されています。

5-1-2 石濱文庫

石濱純太郎博士旧蔵資料約42000点を、総合図書館で保管しています。[資料目録](#)は、大阪大学学術情報庫（OUKA）で公開されています。

*懷徳堂文庫および石濱文庫、ならびにその他の個人文庫に関する詳細は、附属図書館Webサイトの「[コレクション・電子化資料](#)」のページを参照してください。

5-2 漢籍コーナー

附属図書館では、総合図書館（A棟5階）および外国学図書館（1階書庫）に漢籍資料をまとめて配架した漢籍コーナーを設けています。

「漢籍の探し方」に関連する、LS作成パスファインダー

タイトル	作成年度	作成者所属（当時）
中国古典詩について調べる	2024	人文学研究科